

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月10日
【四半期会計期間】	第88期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	三井製糖株式会社
【英訳名】	Mitsui Sugar Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 飯田 雅明
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	経理部長 小塚 智広
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	経理部長 小塚 智広
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第87期 第1四半期連結 累計期間	第88期 第1四半期連結 累計期間	第87期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(百万円)	19,478	20,197	80,720
経常利益(百万円)	2,781	2,246	6,963
四半期(当期)純利益(百万円)	1,724	1,335	4,034
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,716	1,280	4,067
純資産額(百万円)	50,189	52,865	52,132
総資産額(百万円)	68,275	69,968	71,538
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	12.83	9.94	30.03
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	72.30	74.36	71.72

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 第87期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、砂糖事業において連結子会社スプーンシュガーウエスト(株)は、平成23年4月1日付で連結子会社スプーンシュガー(株)及び連結子会社(株)スプーンフーズを吸収合併し、商号をスプーンシュガー(株)に変更しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産活動や輸出が減少する中、デフレ傾向や厳しい雇用情勢が継続しており景気は低調に推移いたしました。また、当社の属する食品業界においても長期に亘る個人消費の低迷や先行き不透明さから厳しい情勢が続いております。

このような状況の中、当社グループでは2年間の中期経営計画（第87期 - 第88期）の最終年度の計画達成に向け注力してまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の業績は下記の通りとなりました。

売上高	20,197百万円（前年同期比 3.7%増）
営業利益	1,901百万円（前年同期比 22.7%減）
経常利益	2,246百万円（前年同期比 19.3%減）
四半期純利益	1,335百万円（前年同期比 22.5%減）

セグメントの概況は以下の通りであります。

（砂糖事業）

砂糖事業におきましては、原料面ではタイやブラジルの増産見通しなどを背景に5月初旬まで下落局面が続いた海外粗糖相場が、ブラジルの生産伸び悩みなどにより反転し6月末まで上昇を続ける展開となり、引き続きコストを圧迫する材料となっております。

売上高としては国内販売価格水準の上昇を背景に前年同期を上回る結果ではありますが、震災により工場生産設備に一部被害を受けたことなどから販売量は前年同期を下回りました。

生産面では、被災した千葉工場の生産体制を早期に復旧し、5月連休明けには通常通りの生産を再開するなど安定供給に努めておりますが、原油相場が高水準で推移しており、省エネ活動に取り組んでいるものの燃料コストの上昇を余儀なくされております。

以上の結果、砂糖事業の売上高は17,995百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は1,550百万円（同28.2%減）となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋 1kg当たり）

期を通じて189～190円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値27.11セント 高値30.88セント 安値20.40セント 終値28.08セント

（食品素材事業）

食品素材事業におきましては、パラチニット®やくチナシ赤色素を始めとする色素事業が好調に推移し、また連結子会社の食品向け色素、日持ち向上剤等が順調であったことにより、総じて収益は改善されました。

以上の結果、食品素材事業の売上高は1,875百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は159百万円（同76.1%増）となりました。

（不動産事業）

不動産事業におきましては、賃料相場の低迷等、厳しい環境となる中、引き続き社有不動産の効率的活用に努めました。

以上の結果、不動産事業の売上高は326百万円（前年同期比9.5%減）、営業利益は191百万円（同7.9%減）となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は122百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	141,667,400	141,667,400	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	141,667,400	141,667,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	141,667,400	-	7,083	-	1,177

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 7,542,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 133,323,000	133,323	同上
単元未満株式	普通株式 802,400	-	同上
発行済株式総数	141,667,400	-	-
総株主の議決権	-	133,323	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三井製糖株式会社	東京都中央区日本橋本町二丁目8-2	7,107,000	-	7,107,000	5.02
南西糖業株式会社	東京都千代田区岩本町三丁目2-9	400,000	-	400,000	0.28
株式会社平野屋	大阪府大阪市浪速区桜川二丁目14-26	35,000	-	35,000	0.02
計	-	7,542,000	-	7,542,000	5.32

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,458	3,353
受取手形及び売掛金	4,488	4,901
商品及び製品	4,085	5,351
仕掛品	1,709	1,316
原材料及び貯蔵品	5,438	4,915
繰延税金資産	548	538
その他	302	254
貸倒引当金	10	12
流動資産合計	22,021	20,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,077	24,095
減価償却累計額	16,118	16,246
建物及び構築物(純額)	7,958	7,849
機械装置及び運搬具	39,453	39,572
減価償却累計額	32,269	32,513
機械装置及び運搬具(純額)	7,183	7,059
工具、器具及び備品	1,619	1,645
減価償却累計額	1,343	1,345
工具、器具及び備品(純額)	275	300
土地	19,682	19,682
リース資産	44	50
減価償却累計額	15	18
リース資産(純額)	28	32
建設仮勘定	1,045	983
有形固定資産合計	36,174	35,908
無形固定資産		
無形固定資産合計	55	134
投資その他の資産		
投資有価証券	12,336	12,349
長期貸付金	59	55
繰延税金資産	129	134
その他	781	784
貸倒引当金	19	19
投資その他の資産合計	13,287	13,305
固定資産合計	49,517	49,348
資産合計	71,538	69,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,382	4,431
短期借入金	-	600
1年内返済予定の長期借入金	1,324	647
リース債務	8	9
未払費用	2,566	2,124
未払法人税等	1,330	806
未払消費税等	31	301
役員賞与引当金	68	12
その他	1,074	1,785
流動負債合計	12,786	10,719
固定負債		
長期借入金	1,185	1,110
リース債務	21	24
繰延税金負債	1,216	1,232
退職給付引当金	1,792	1,726
資産除去債務	56	56
長期預り保証金	1,022	997
その他	1,324	1,235
固定負債合計	6,619	6,383
負債合計	19,406	17,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,254	1,254
利益剰余金	46,081	46,875
自己株式	2,566	2,567
株主資本合計	51,851	52,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	152
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	713	770
その他の包括利益累計額合計	541	615
少数株主持分	821	835
純資産合計	52,132	52,865
負債純資産合計	71,538	69,968

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	19,478	20,197
売上原価	14,558	15,712
売上総利益	4,920	4,484
販売費及び一般管理費		
配送費	564	637
役員賞与引当金繰入額	16	11
退職給付引当金繰入額	38	37
その他	1,843	1,896
販売費及び一般管理費合計	2,462	2,583
営業利益	2,458	1,901
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	29	30
受取ロイヤリティー	0	96
持分法による投資利益	315	121
雑収入	22	144
営業外収益合計	368	394
営業外費用		
支払利息	8	7
固定資産除却損	5	15
雑損失	30	26
営業外費用合計	44	49
経常利益	2,781	2,246
特別利益		
合理化対策事業助成金収入	44	61
特別利益合計	44	61
特別損失		
固定資産圧縮損	44	61
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33	-
災害による損失	-	25
特別損失合計	78	86
税金等調整前四半期純利益	2,748	2,221
法人税、住民税及び事業税	1,022	840
法人税等調整額	35	26
法人税等合計	987	867
少数株主損益調整前四半期純利益	1,760	1,354
少数株主利益	36	18
四半期純利益	1,724	1,335

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,760	1,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	9
繰延ヘッジ損益	4	1
持分法適用会社に対する持分相当額	58	66
その他の包括利益合計	44	74
四半期包括利益	1,716	1,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,679	1,261
少数株主に係る四半期包括利益	36	18

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
1. 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対する連帯保証 ｸﾞﾑﾊﾟｳﾋﾞｰｼｭｶﾞｰ(株) 95百万円 ｶｾｯﾄﾎﾞﾝｼｭｶﾞｰ(株) 495百万円 計 590百万円	1. 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対する連帯保証 ｸﾞﾑﾊﾟｳﾋﾞｰｼｭｶﾞｰ(株) 91百万円 ｶｾｯﾄﾎﾞﾝｼｭｶﾞｰ(株) 472百万円 計 563百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1.	1. 災害による損失 東日本大震災に伴う災害関連経費であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1. 第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。 減価償却費 540百万円	1. 第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。 減価償却費 558百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	942	7.0	平成22年3月31日	平成22年6月24日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	538	4.0	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損 益計算書計上 額
	砂糖事業	食品素材事 業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,220	1,897	360	19,478	-	19,478
セグメント間の内部 売 上高又は振替高	9	0	19	28	28	-
計	17,229	1,897	379	19,506	28	19,478
セグメント利益	2,159	90	207	2,458	-	2,458

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損 益計算書計上 額
	砂糖事業	食品素材事 業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,995	1,875	326	20,197	-	20,197
セグメント間の内部 売 上高又は振替高	10	-	30	40	40	-
計	18,005	1,875	356	20,238	40	20,197
セグメント利益	1,550	159	191	1,901	-	1,901

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円83銭	9円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,724	1,335
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,724	1,335
普通株式の期中平均株式数(千株)	134,358	134,343

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月 5日

三井製糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 油谷 成恒 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池田 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三井製糖株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三井製糖株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。